

# OPINION

## 中部経済新聞

新しい事業環境への移行には、資源効率、循環型経済、専門分野を超える協力、倫理性が、持続可能な発展を実現する重要なテーマであることを理解するべきである。経験豊富な経営コンサルタントは、新事業を模索するためのかけ

### ナビゲーター

がえない財産となる。社外から、会社の歴史に左右されず、既成概念にとらわれない発想をすることが出来る。他分野での経験から、企業の能力や実力を発揮できる場所をより容易に見極めることができる。

私たちの実績が示すのは、

## 期待の日本へ 世界各地から

其 85

# 変化する環境下における事業展開

経験が豊富なら、初期で事業分析を行ったあと、新たなチャンスを見出し、その可能性を高められることである。経験豊かなコンサルタントは、同時に専門家でもある。しかしながら、持続可能な発展の原則とその展開はまだ端緒に

ついたばかりで、企業にとってもコンサルタントにとっても長期にわたる経験が十分ではない。企業とコンサルタントの既存の境界を越えた協力や透明性、相互信頼が非常に重要である。

初期の分析と熱意の形成が

## フィンランドから(下)

十分になされた後、基本的なコンサルティングの手順に立ち返れば、企業の戦略や業務に必要な変革を明確にし、実り多くまた持続可能な事業の新たなレベルを達成するための情報やコミュニケーション方法を明らかにすることが可能である。もし日本からご要望があれば、フィンランドでグローバルに活躍する企業のプロジェクトで成功したプロセスや方法論について説明することも可能である。

雑で不確実な時代において、どのよう意志決定がなされるのか、この点こそわれわれの課題である。持続可能性が、成功の評価に地球と人類の幸福という二つの柱を加えたときに、問いかけは始まった。持続可能性の目標に対してどのような効果があるのかまだわかっていない以上、この命題に対する最終的な成果がどのようなものであるべきかを確実に述べることは誰にも不可能だ。

未来がはつきり見えない複

存在するためである。このように、意志決定は複雑なものである。

要な目標が何であるかさえ理解できていない。だが、どのようなレベルであっても、経営管理者はなにをするべきか決定する必要がある。 鉱業における意志決定とその後にある要因に関するフィンランドの調査がある。鉱業が実践的な研究対象として選ばれたのは、意志決定が非常に長期的に影響を及ぼし、時に数百年に及ぶこと、投資額が莫大で、意志決定の遅れが非常に高くつくこと、さらに非常に強い意見を持つ利害関係者が大量かつ多種多様に

【キム・カルメル・カルメ・コンサルティングCEO・C MC、リーム中産連】

関係者が大量かつ多種多様に

(月曜日掲載)